



エルフお宿、
新人ちゃんの
初めての
ご奉仕

エツチなエルフとの

暮らし方

5

Presented by kasei

かせい

山奥の秘境にある

知る人ぞ知る
エルフの旅館

完全予約制
特別なサービスが
待っている

そんな風に
男性の間で
囁かれている



ふう

あとは

あっ

いけない
もうこんな
時間に



うそッ

ビク

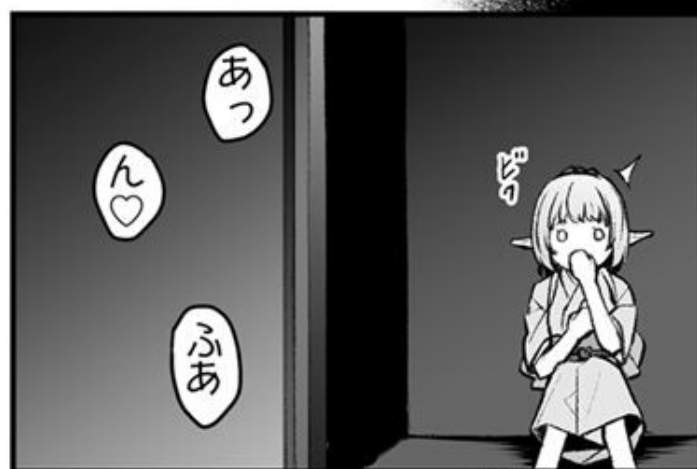
もう
来ちゃなの!?

アセ

アセ



あら物音が
してたような
気がしたけど



あっ

ん♡

ふあ

ぽっ



ぞろろ



チュ

チュ

チュ

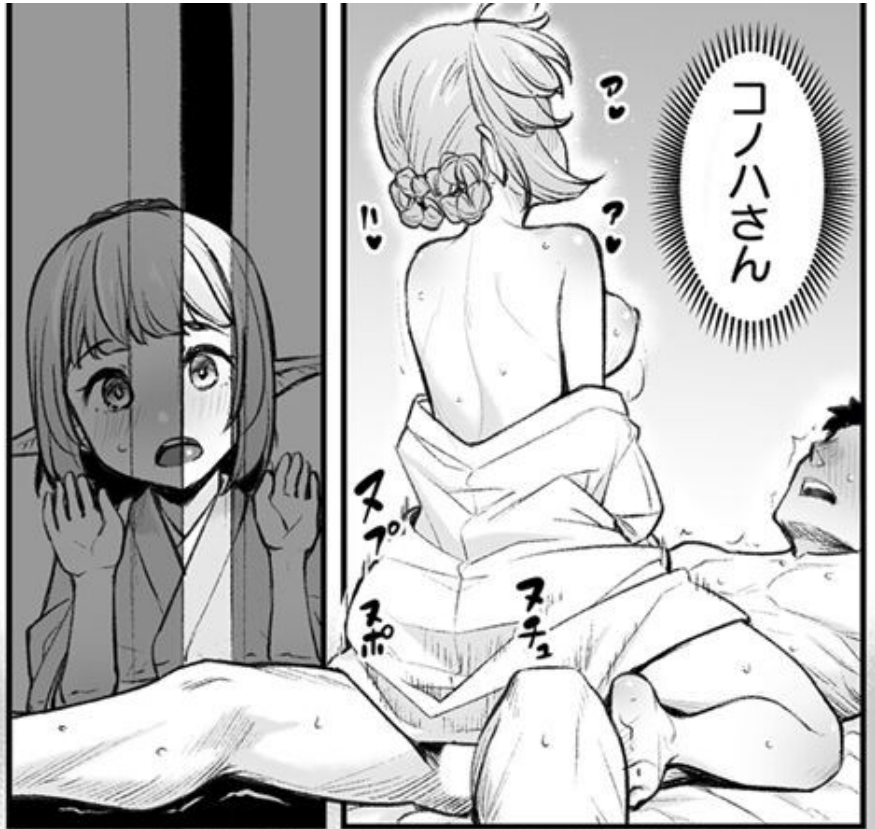
チュ



あわてて
隠れちゃっ
たけど

どうしよう
いまから出て
行けないよお

キキキ





ココに入っ
ちゃうんだ

どんな感じ
なんだろう

だめ

指が止まら
ないよう



ふあ

あつこの

きてっ

あっ

んく

んん

ゴッ

ナカにっ



キキ
キキ

ふあつ
ああああ

センパイ
そんないいの

ンツ
クウウウ







担当の
ワカバです

夜は初めてで
よろしくお願
い致しますわ

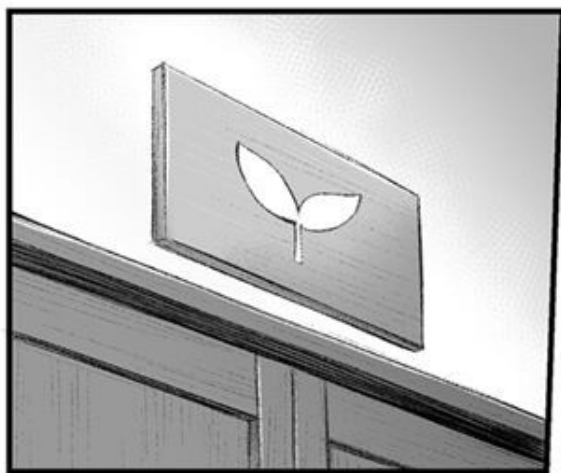
わたしが
初めてとは
光栄ですな

それでは
案内をたのむよ

ほお

よかった
優しい人だ

フツ



そうだわたしの事は
「おじ様」と呼んで
もらってよいか

えっと…
おじ様
こちらです

はじめま
しょうか

はい？

はひっ

ムク

はひ



ワカバ
いきますー!

ムムム

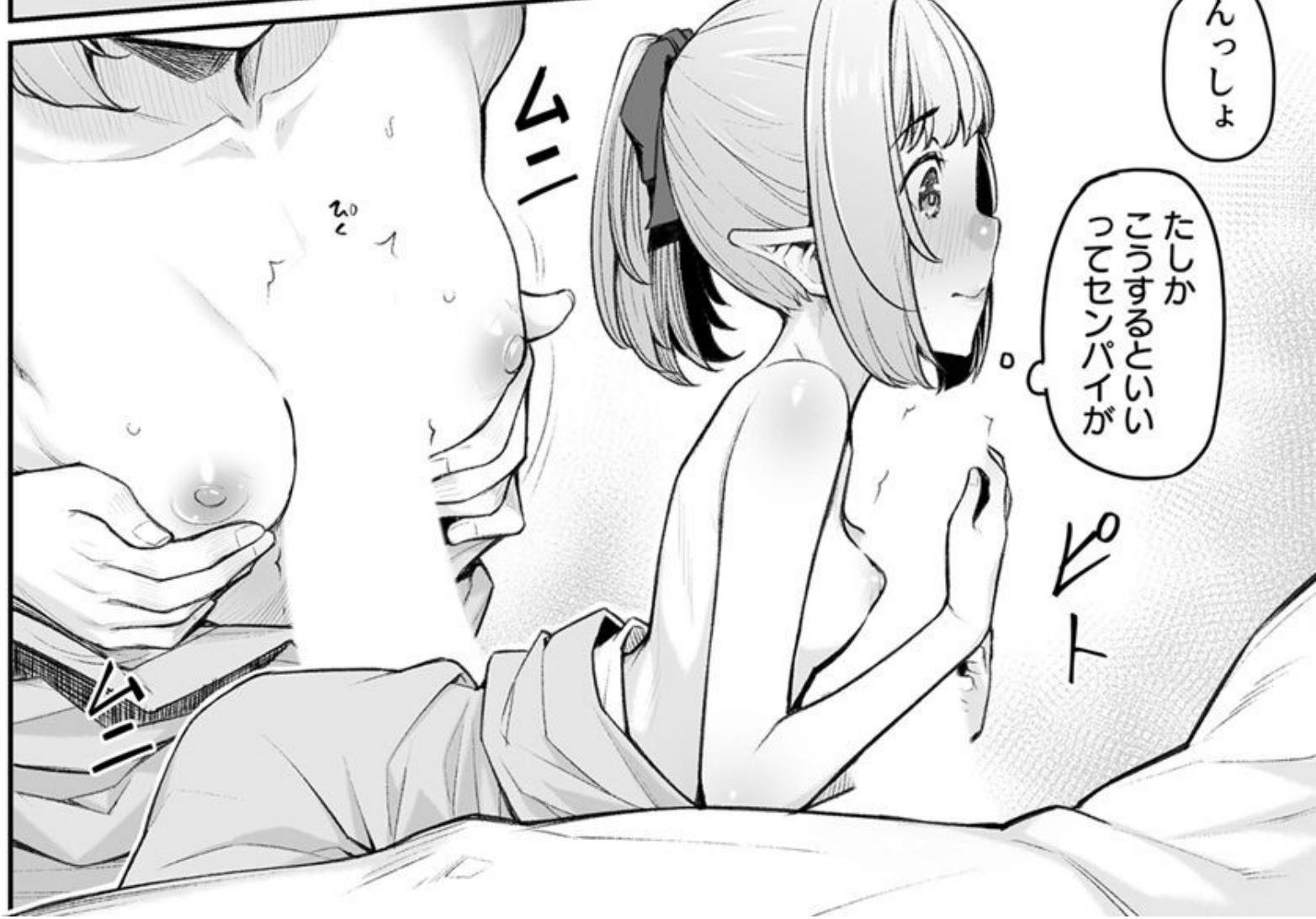


ふあ
おおきい…

ふふ
私とした
ことが

昂ぶっている
ようです

ミキ
ミキ



んっしょ

たしか
こうするとい
ってセンパイが

ト

ムム

ふと









あー!

じわ

ハジメテって
痛いんだ

ズ
ン

ズ
ン

ズ
ン

腰が
ぬけて…

あれっ

ダイ
ジョウ
ブ
デス

大
丈
夫
か
い?

フル

フル

フル



そんな私まだ

ホス

あっ

ても

今日は私に任せなさい

あっ

初めてなのだろうか？

ムッ

ムク

意地を張っても互いが良くなければ続きませんよ

あう



さわ

それにキミの
ような娘に

頼られると
いうのもわるく
ありませんから

おじ様



生娘を拓く
この感覚
たまらないっ

ワカバさん
いいですよ

ぬぶ
んんっ
ずち

あっ

あっ

ぬちゅ

ひあ



あ
あ
あ

あ
ん

あ
ん
ん

あ

か
か

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド



あ
あ
あ

あついのが
十かに

あ
あ



はっ
あああ

ズ
ズ
ズ

ヅ
ヅ
ヅ



ズ
ズ



さっきより
なじんで
きましたね

ひあ

そうかも
しれまッ

あ

私も
辛抱なり
ません

カ
カ
カ

いいですよ

んあ

あッ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ



ん

そんなっ

あめっ

ポチュポ

チュポ

チュポ

ズブ

ズブ

ズブ

ポチュ

ん

ピリ

ピリ

んあ

おじさまっ

あめっ

チュポ

カリ

チュポ

ズブ

ひあ

カリ

ポチュ

はげしっ

か

カリ

あめっ

だめっ

おくら



あ

まって

ビク

ビク

ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ

んああ

おじさまっ

ビク

あっ

ビク

これ
だめです

ちゅぷ

ひあ

ちゅぷ



ワカバさん

ヒッ

ふえ

ヒッ



ちゅぷ

ちゅぷ

ビク

ヒッ



またの
お越しをお待ち
しております

うむ
そちらも
息災でな

だからまた
来てください



ふふそうですか
楽しみに
していますよ

はい



おじ様っ

私もっと
上手くできるよう
がんばります

フル

フル











エッチなエルフとの暮らし方

(5)

著者 かせい

発行 FILL-IN

この物語はフィクションです。登場する人物・事件・団体・名称等は架空であり、実在のものとは一切関係ありません。

収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、発売当時のまま掲載しています。

本作品の一部あるいは全部を無断で複製・転載・配信・送信・放送・譲渡またはアップローダーサイトに掲載する事を禁止します。

本作品の使用につきましては、あらかじめ弊社宛に許諾をお求め下さい。